

## 9. カートリッジの交換方法

- カートリッジ⑩のスナバ掛け部⑨にカートリッジ用スナバ⑦を掛け、図 10 の矢印の方向に回して取り外します。
- 新しいカートリッジを装着する際は内部をきれいにしてから装着してください。
- 最後に取り外しの時とは逆方向にカートリッジを回してしっかりと締めてください。

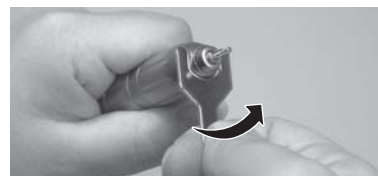


図 - 10

## 10. チャックの交換または掃除方法

### ⚠ 注意

ガイドブッシュは非常に小さい部品です。紛失しないように注意してください。

### ⚠ お知らせ

チャックは週に1度は取り外して掃除してください。

### 10-1 チャックの取り外し

- チャックへテストバーまたはバーを装着してからカートリッジ⑩を取り外します。(9. カートリッジの交換方法を参照)
  - ローターを押さえ、ローター軸先端にあるローター軸ナットへローター軸ナット用レンチ⑮を掛け、図 11 の矢印の方向へ回します。レンチは四角の穴、コの字形どちらでも使用できます。
  - ローター軸ナットを取り外したら、後部よりテストバーまたはバーのシャンク部によりチャックを慎重に押し出してください。ガイドブッシュを挿してチャックが取り外せます。(図 12)
- チャック清掃の際はチャックを超音波洗浄器等でよく洗浄します。ローター軸内部もオイルスプレー等を吹き付け、きれいに掃除してください。

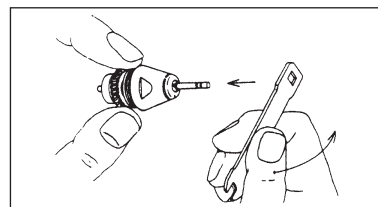


図 - 11

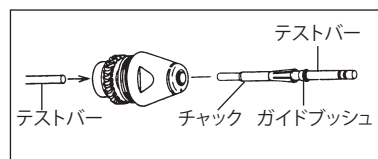


図 - 12

### 10-2 チャックの取り付け

- 新しいチャックまたは掃除後のチャックは表面に薄く油を塗り、テストバーを入れ、ローター軸へ押し込みます。(図 13)
- テストバーに添って、ガイドブッシュのガイド部の長い方を先にローター軸先端へセットします。(図 14)
- 最後にローター軸ナットをテストバーに添って差し込み、ローターをしっかりと押さえ、付属のローター軸ナット用レンチ⑮でしっかりと締め込んでください。(図 15)

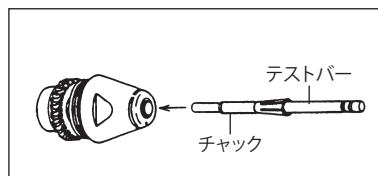


図 - 13

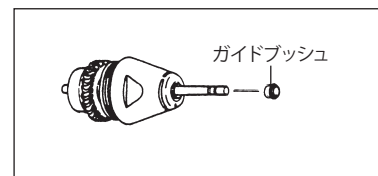


図 - 14

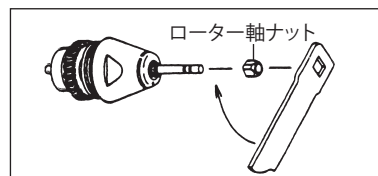


図 - 15

## 11. ユニットの保守

### フィルター内の水抜き方法

フィルター点検窓④よりフィルターボウルを見て、水が溜まっていたら、底から指を差し入れてドレンを矢印の方向(反時計方向)へ回してフィルター内の水を抜いてください。(図 16)

水を抜いたらドレンを逆方向に回してしっかりと締めてください。



図 - 16

## 12. 製品廃棄

本製品を廃棄する際は、産業廃棄物として処分してください。

# PRESTO II

## 取扱説明書

OM-K0515 001

このたびは、PRESTO II「プレストII」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に使用上の注意、取扱方法、また保守点検等につきまして本取扱説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法により末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。また本取扱説明書は、ご使用になる方がいつでも見ることができる場所へ保管してください。

## 1. 安全上の注意事項・表示について

- 使用前に必ずこの安全上の注意をよくお読み頂き、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全にお使い頂き、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するものです。危害や損害の大きさと切迫の程度に分類しています。いずれも安全に関する内容ですから、必ずお守りください。

注意区分	危害や損害の大きさと切迫の程度
⚠ 警告	「人が傷害を負ったり、物的損害の発生がある注意事項」を説明しています。
⚠ 注意	「軽傷または中程度の傷害、または、物的損害が発生する可能性がある注意事項」を説明しています。

### ⚠ 警告

- ① 回転体には手を触れないでください。高速回転のため危険です。
- ② 回転中は安全のため保護覆いや防塵メガネ、防塵マスクをご使用ください。
- ③ バーのチャックへの取り付けは確実にを行い、ご使用前にもう一度ご確認ください。
- ④ 振れ、曲がり、傷、シャンク部に摩耗の見られるバーは使用しないでください。バーの飛散や折損によってけがをする危険があります。
- ⑤ バーメーカーまたは、バー販売業者が指定する許容回転数を守ってください。バーの飛散や折損によってけがをする危険があります。
- ⑥ ホースの接続は確実に行ってください。使用中にホースが外れますとホースが飛ばれ大変危険です。

### ⚠ 注意

- ① ハンドピースやユニットは落下させないでください。ユニットは必ず平らで安定した場所に置いてください。
- ② 改造またはむやみに分解することはしないでください。性能や安全面で重大な影響を及ぼすことがあります。故障・修理の際は、お買い求めの販売店へ修理依頼してください。
- ③ ハンドピースが回転中は、チャック開きリングを回さないでください。ハンドピースが破損します。
- ④ ハンドピースへは絶対に注油しないでください。ベアリングはグリース封入式を使用していますので、注油されますと故障の原因になります。
- ⑤ ガタ、振動、音、温度(発熱)に十分注意して、使用開始前に予め回転させ点検をおこなってください。その時少しでも異常を感じたらすぐに販売店へ修理依頼をしてください。
- ⑥ エアー圧力は0.2 - 0.25MPaが適正です。これ以上の圧力になると回転数が上がり過ぎ、軸受けの早期摩耗が生じます。
- ⑦ ユニットのフィルターに水滴や汚れが見られたら水抜きを行ってください。
- ⑧ 装着しようとするバーのシャンクはいつもきれいにしてください。ゴミがチャック内に溜まるとバーが振れたりチャック破損の原因になります。
- ⑨ 使用しないときも、切削バーまたはテストバーを装着しておいてください。
- ⑩ 操作・保守点検の管理責任は使用者側にあります。
- ⑪ ドレンを多量に含んだ圧縮空気は、空気圧機器の作動不良の原因になります。エアーラインキットにはフィルタが付いていますが、湿気の多い時期や場所によって別のフィルタまたはエアードライヤがないと能力不足になり、故障の原因になることがありますので、できるだけ大きな容量のフィルタ(市販品)またはエアードライヤ(市販品)を、エアーラインキットの1次側の近い場所に取り付けてください。

## 2. 各部の名称および梱包内容



- |                  |              |                  |             |
|------------------|--------------|------------------|-------------|
| ① プレストIIユニットボックス | ⑧ 配管ホース      | ⑮ ハンドピースチューブクランプ | ⑳ スパナ掛け部    |
| ② 圧力ゲージ          | ⑨ プレストハンドピース | ⑯ パー差込レンチ        | ㉑ チャック開きリング |
| ③ レギュレーターつまみ     | ⑩ ハンドピースチューブ | ⑰ カートリッジ用スパナ     | ㉒ チューブ抑えリング |
| ④ フィルター点検窓       | ⑪ フットペダルコネクタ | ⑱ ローター軸ナット用レンチ   | ㉓ 取扱説明書     |
| ⑤ ハンドピースコネクタ     | ⑫ ホースストッパー   | ⑲ ハンドピーススタンド     |             |
| ⑥ チューブストッパー      | ⑬ 配管コネクタ     | ⑳ 接続用コネクタ        |             |
| ⑦ フットペダル         | ⑭ ユニット固定ねじ   | ㉑ カートリッジ         |             |

## 3. 弊社製品の保証

弊社製品について保証はございませんが、次の①～③の場合は、製品交換、または、無償修理の対応をさせていただきます。  
「4. お問い合わせ窓口」または、ご購入先の販売店までご連絡ください。

- ① 弊社製造上の不具合。
- ② 梱包内容が不足している場合。
- ③ 梱包箱開封時に製品が破損している場合。  
(但し、お客様の過失により梱包箱を落下させた場合は、製品交換、無償修理の対象外になります。)

## 4. お問い合わせ窓口

弊社製品を安心してご購入/使用いただくため、製品に関するご質問、ご相談をお受けしております。  
ご購入いただきました製品の使用方法、ご購入後のメンテナンス、故障など、弊社「お問い合わせ窓口」までご連絡ください。

### 📞 お問い合わせ窓口

お問い合わせ先 株式会社ナカニシ 機工営業部  
 受付時間 午前8:00～午後5:00 (土日・祝祭日は除きます。)  
 電話 0289-64-3280  
 e-mail webmaster-i@nsk-nakanishi.co.jp

## 5. 仕様

回転数	320,000min <sup>-1</sup>	ユニットボックス寸法	W120 × D102 × H165 (mm)
適正給気圧	0.2 - 0.25MPa	ユニットボックス質量	720g
ハンドピース寸法	φ16.6 (D) × 130 (H) mm	空気消費量	40Nℓ / min
ハンドピース質量	71g	使用工具	軸径φ1.6mm 専用
騒音 (1m離れた位置)	70dB (A) 以下		

	温度	湿度	気圧
使用環境	0 - 40°C	MAX.75% (結露がないこと)	800 - 1,060hPa
輸送・保管環境	-10 - 50°C	10 - 85%	500 - 1,060hPa

## 6. 各部の取り付け方法

### 6-1 ユニットボックスの設置

ユニットボックスは壁掛け、床置き等さまざまな取り付けができます。  
壁面等に取り付けるときは、ユニットボックス背面のねじ穴2ヶ所に、ユニット固定ねじ⑭で固定してください。

### 6-2 配管ホースの取り付け

#### ⚠️ 注意

- ・ 配管ホース⑧を配管コネクタ⑬に押し込むときは、しっかりと止まるまで押し込んでください。エア漏れの恐れがあります。
- ・ 配管コネクタ⑬から配管ホース⑧を取り外すときは、白リングを押しながらホースを引き抜いてください。

ユニットボックス左側のレギュレーターにある配管コネクタ⑬へ配管ホース⑧をしっかりと止まるまで押し込み、図1のように接続してください。接続後ホースを引いて確実に取り付けられているか確認してください。  
配管ホース⑧のもう一方をエアラインに接続してください。このとき必要に応じて付属の接続用コネクタ⑳を使用してください。



図 - 1

### 6-3 フットペダルの取り付け

ユニットボックス背面のフットペダルコネクタ⑪に付いているホースストッパー⑫ (2個) を緩めて外し、フットペダル⑦のホースに差し込みます。このときホースストッパー⑫は外側 (ユニットボックス側) がねじになるように差し込んでください。(図2)

壁掛けでご使用の場合はホースは図2の穴に通してください。ホースの端に「1」の表示がされたシールが付いている方をラベルの指示に従って差し込んでください。両方のホースを差し込んだ後、ホースストッパー⑫をしっかりと締め込みます。



図 - 2

### 6-4 ハンドピースの取り付け

ユニットボックス右側のハンドピースコネクタ⑤に付いているチューブストッパー⑥を緩めて外し、ハンドピースチューブ⑩に差し込みます。このときチューブストッパー⑥は外側 (ユニットボックス側) がねじになるように差し込んでください。(図3)  
ハンドピースチューブ⑩をハンドピースコネクタ⑤に差し込み、チューブストッパー⑥をしっかりと締め込みます。

ハンドピースチューブ⑩のもう一方にチューブ抑えリング⑲を図4のように差し込み、ハンドピースコネクタへ図5のように差し込みます。



図 - 3

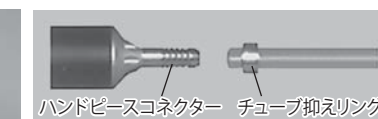


図 - 4

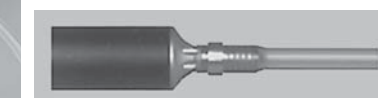


図 - 5

### 6-5 ハンドピースチューブクランプの取り付け

ハンドピースチューブクランプ⑱が2個添付されていますので、使い方によってハンドピースチューブを固定したいときなどに使用ください。

## 7. ユニットボックスの操作手順

### 7-1 給気圧の設定

エアの元栓を開け、レギュレーターつまみ③を上方に引き上げ時計方向に回転させ、圧力ゲージを0.25MPaに合わせます。  
合ったところでつまみを下げてロックします。(図6)



図 - 6

### 7-2 作動

フットペダル⑦を踏むと回転を開始します。

### 7-3 作業が終わったら

エアの元栓を開けてください。

## 8. ハンドピースの操作手順

- (1) プレストハンドピースのチャックは押し込み式ですので、図7のようにφ1.6mmバーをセットして押し込んでください。先端の細いバーは付属の専用のバー差込レンチ⑯を用いて図8のように押し込んでください。
- (2) バーを取り外す場合は、チャック開きリング⑳を図9の矢印の方向に回せば取り外すことができます。

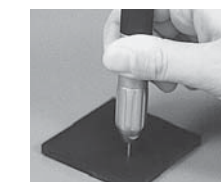


図 - 7

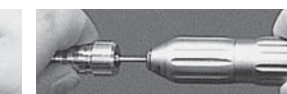


図 - 8



図 - 9